

令和4年 第4回 教育委員会定例会議事録

招集日時 令和4年4月27日（水曜日）午前10時開会／午後12時閉会

招集場所 加賀市民会館2階 第2会議室

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 堀川事務局長、宮永事務局長、平塚次長兼学校指導課長、小茂出教育庶務課長、上出生涯学習課長、出淵中央図書館長、左古教育総合支援センター所長、田中スポーツ推進課長、鳶崎文化振興課長、梶谷教育庶務課企画官、中川生涯学習課企画官、重谷スポーツ推進課企画官、中蔵教育庶務課リーダー
小林地域プロジェクトマネジャー

令和4年第4回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 令和4年度、初めての定例会になります。前回の定例会の冒頭にウクライナの話をしたと思うんですが、次回、この第4回の定例会までには終わっているかなと思ったんですが、実はまだ続いていて、本当に目を背けたくくなるような報道が続いておりますけれども、自分の中ではその報道から目を背けるようになってきたかなと。あまり見たくない、チャンネルを変えてしまうような自分があることに少し警戒感を持っているんですが、これはウクライナだけの話ではなくて、日本にも、どの国にも可能性がある話で、平和を大事にしましょうというだけではなかなか収まらないこともあるのかなと、これは国民みんなで考えていかなくてはいけないなと思っております。

2点目は一昨日に教育長会がありまして、いろんな話をした中で、珠洲市の教育長さんが「珠洲市は今、大変ですよ。」と。地震が大変で子ども達がなかなか落ち着かないし、地域全体も落ち着かないと。私たちはテレビで地震の速報は聞きますけれども、珠洲市の当事者の皆さんは本当に大変だということで、これも私たちにも起こらないとは限らないことで、やはり普段の防災教育と避難訓練をしっかりとやっていかななくてはならないと改めて思った次第であります。

3点目は、今日の新聞に、中学校の土日の部活動は地域を介すというような記事が出ておりました。来年度からやっていくというのは、昨年度からいつているんですが、3年間の期限をきって、それを達成しようということがまた新たな情報として出てきました。昨年からスポーツ協会の方に地域を介すということで、各代表が集まったときにはお話をさせていただいたり、情報の提供をしたりしていたんですが、また新たに3年間という期限が加わったということで、さらにきちんと物事を進めていかないといけないと思っております。

あと朝にNHKの番組を見ているんですが、教師の働き方改革ということで、毎月残業の調査をしていますよね。調査をしている中で、17%の教員が過少申告をしると上司から言われたということで、これはこの調査そのものの信頼性を揺るがすとか、これはあってはならないことだと思っておりますが、これも校長会等でしっかり伝えていかなくてはいけないと思っております。この働き方改革については、名古屋大学の内田良教授が関わっていますが、クローズア

ップ現代に内田良さんが出演して、この教師の働き方改革という番組をされるということなので、もし時間があれば見ていただければ有難いかなと思います。

最後に、橋立小中学校の義務教育学校への移行ということで、3月議会に出ましたけれども、具体的に推進していくということで、先々週から3回、橋立の保護者に説明に行っておりましました。これからアンケート結果も出てくると思いますので、様々な意見をいただきながら進めていかないといけないと改めて思っております。

それでは4月の人事異動に伴いまして、事務局も人員が変わりましたので、まず自己紹介から始めてまいりたいと思います。では、順番に堀川局長からお願いいたします。

- 堀川局長 4月1日から教育委員会の事務局長を拝命いたしました堀川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 宮永次長 教育委員会事務局次長の宮永です。教育庶務課長の兼務は解かれておりますが、引き続きよろしくお願いいたします。
- 平塚次長 同じく、事務局次長兼学校指導課長を拝命いたしました平塚です。よろしくお願いいたします。
- 小茂出課長 4月より教育庶務課長を拝命いたしました小茂出です。よろしくお願いいたします。
- 上出課長 生涯学習課長、上出でございます。今年度もよろしくお願いいたします。
- 田中課長 スポーツ推進課長3年目になります、田中と申します。よろしくお願いいたします。
- 鳶崎課長 文化振興課長の鳶崎です。よろしくお願いいたします。
- 梶谷企画官 4月1日で局長から教育庶務課の企画官になりました梶谷です。またよろしくお願いいたします。
- 中川企画官 生涯学習課の企画官の中川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- 出淵館長 4月1日付でスポーツ推進課から中央図書館長を拝命いたしました出淵と申します。よろしくお願いいたします。
- 重谷企画官 スポーツ推進課の企画官の重谷と申します。昨年度まで教育庶務課で事務局として参加させていただいておりました。またよろしくお願いいたします。
- 左古所長 教育総合支援センター所長の左古です。どうぞよろしくお願いいたします。
- 小林地域プロジェクトマネジャー 4月1日より地域プロジェクトマネジャーとして教育委員会に所属することになりました小林と申します。よろしくお願いいたします。
- 山田教育長 議事を進める上で退席される方はお願いいたします。

それでは審議事項に入ります。本日、審議事項は4件です。議案第17号、令和4年度加賀市青少年育成地区指導員（補欠）の委嘱について小茂出課長お願いいたします。

- 議案第17号 令和4年度加賀市青少年育成地区指導員（補欠）の委嘱について
小茂出課長 資料に基づき説明

- 山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。
それでは議案第17号、令和4年度加賀市青少年育成地区指導員（補欠）の委嘱について賛成

の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

続きまして議案第 18 号、加賀市いじめの防止等対策委員会委員の解嘱及び委嘱について平塚次長お願いいたします。

- 議案第 18 号 加賀市いじめの防止等対策委員会委員の解嘱及び委嘱について
平塚次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第 18 号、加賀市いじめの防止等対策委員会委員の解嘱及び委嘱について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

続きまして議案第 19 号、加賀市家庭教育推進会議委員の選任について上出課長お願いいたします。

- 議案第 19 号 加賀市家庭教育推進会議委員の選任について
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第 19 号、加賀市家庭教育推進会議委員の選任について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

では、議案第 20 号に入る前に、取り下げになりました議案につきまして出淵館長ご説明をお願いいたします。

○出淵館長 取り下げの理由についてご説明させていただきます。今、デジタル図書館開設に向けて準備を進めておりますが、今まで図書館が扱っていた資料の中に新たに電子書籍というものが加わります。現行の図書館法で、図書館が行なう奉仕の中に資料の提供がありまして、その資料というのが、図書、記録、視聴覚教育の資料、その他必要な資料を収集して一般の公衆に提供するという情報があります。この図書館法で謳う資料の中にこの電子書籍が含まれないのではないか、そうだとしたら条例の改正の必要があるということで進めていたんですが、その他資料の中に電子書籍が含まれると広く解釈することといたしましたので、急ではございましたが、議案を取り下げさせていただくことになりました。以上でございます。

○山田教育長 以上のような理由でということで、ご理解をいただければと思います。

それでは議事を進めてまいります。議案第 20 号、加賀市スポーツ推進委員の委嘱について田中課長お願いいたします。

● 議案第20号 加賀市スポーツ推進委員の委嘱について

田中課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

では議案第20号、加賀市スポーツ推進委員の委嘱について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。以上で審議事項は終わります。

続いて報告事項に入ります。報告第17号、令和4年度教育委員会施策についてお願いいたします。

● 報告第17号 令和4年度教育委員会施策について

小茂出課長 資料に基づき説明

平塚次長 資料に基づき説明

上出課長 資料に基づき説明

出淵館長 資料に基づき説明

田中課長 資料に基づき説明

鳶崎課長 資料に基づき説明

○山田教育長 それでは教育庶務課から順番にいきたいと思います。教育庶務課の施策についてのご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 細かいところですが、課題の一番最後のところで、小中学校の義務教育化とありますが、これは義務教育学校化のことではないかと思えます。

2点目は具体的な取り組みの(1)、(2)です。教育大綱及び教育振興基本計画の実践、総合教育会議の定期開催・定着化と書いてあります。これは以前からこの教育委員会の中でも散々ご指摘あるいはご審議をしていただきたいと、特に市長さんを交えた総合教育会議については定期開催、定着化していただきたいということは何度もお話をさせていただきました。ぜひ今年度は具体的に定着化を図っていただきたいと思っております。

○山田教育長 関連してございませんか。

○山下委員 具体的な取り組みの(2)については、定期開催となっておりますので、定期というからには、年度当初にもう日時を決めると。そして市長に予定を空けていただくということを諮らないと、ギリギリになって市長の予定を聞いてもお忙しいので、年度当初に日時をある程度決めて、そして教育委員に諮って空けておいてくださいとしないとできないと思えます。あくまでも具体的な取り組みとなっておりますので、その辺を重々ご検討いただきたいです。

そして具体的な取り組みの(14)、審議資料の充実とあります。今、タブレット化されましたし、これに多くの資料が加えられると思えます。具体的に審議資料の充実とはどういうかたちを考えておられるのかをお答えいただければ有難いです。

もうひとつ具体的な取り組みの(24)、社会の Well-being を実現する学校づくり推進が具体的な取り組みに入っているんですが、果たしてこれは具体的な取り組みなんでしょうか。課題ではないでしょうか。まだまだウェルビーイングを実現する学校づくり推進というのが見え

ていない中で、どういう具体的な取り組みがあるのか、もし具体的な取り組みとして考えていらっしゃるがあればお示しいただきたいです。

○山田教育長 小茂出課長、お願いします。

○小茂出課長 まず課題の小中学校の義務教育化は改めまして、義務教育学校化に訂正させていただきますと思います。

具体的な取り組み（２）の総合教育会議の定期開催、定着化につきましては、取り組めるように進めていきたいと思っております。

○宮永次長 昨年度から懸案としてご指導をいただいて、なんとか昨年度中に開催をしようと思っただけで日程調整をしたんですけども、どうしても難しく、年度明け早々には実施し、さらには今年度は定期的にといいことで教育庶務課長と話をしながら進めていきたいと思っております。その中で課題の一番上、具体的な取り組み（１）教育大綱及び教育振興基本計画の実践ということでございますが、総合教育会議を早期に開催する中で、大綱の方向性を固めまして、基本計画の方も概ね方針を固めながら、早期に大枠の概要版を策定して、細かいところを作りながらも実践に入っていきたいということで、策定から実践に変わる年ということでこういうふうな記載をさせていただきます。

（14）につきましては、タブレットを皆さまに使っていただく中で、より見やすいような資料であったり、細かく説明できるような資料であったりということで、また委員さんのご意見もいただきながら反映させていただきたいと思っております。

最後に（24）の学校づくり推進ということで、これは課題でもあるんですが、これがひとつ事業として、私どもとしては抱えております。これにつきましては今回の義務教育学校であったり、新しい学校づくりというところでの体制づくりということで、高校の魅力的な運営というところも含めながら、加賀市全体の学校をどうしていくかを考える事業としても取り上げているので、課題でもあり、事業のひとつでもあるというところで取り上げさせていただいております。この中で細かい部分がまた発生するかなと思っておりますが、ご理解をいただきたいと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

では、続いて学校指導課でご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 まず、ひとつ素晴らしいと思ったのは、先ほど平塚次長がおっしゃったように、課題として学校と地域との連携共存が大切であると。そのために社会に開かれた教育課程の創造を目標として上げていきたいというお話がございました。私も大変共感するところがございますので、ぜひ推進していただきたいし、具体的な活動の取り組みも行なってほしいと思っております。具体的な取り組みについて、どういうことを指しているのかがちょっとここには見えてこなかったもので、もしそういうことがありましたら教えていただきたいです。

そして具体的な取り組み（２）です。かがっこ休日スクールの継続、民間学習塾との連携のところで、昨年の後半から民間学習塾との連携ということで、加賀市の中学校の子ども達の学力向上を願った取り組みが開始されていると思っております。それについてどういう結果になったのか、次回で結構ですので、実態を教えてくださいたいと思っております。

そして具体的な取り組み（３）小学校１学級35人を超える学年ということで、それに対して非常勤講師を市単独で配置するというお話だと理解しております。今年度はいくつの学級がこ

れに該当したのか、それに伴って市単独の教員配置は何人行なったのか、今おわかりでしたら
お答えいただきたいです。

それから（８）PC 端末の効果的な活用と ICT 教育の充実のところですか。全教員が PC 端末
を活用した授業を公開すると、これは大変素晴らしいことだと思っております。ぜひムーブノ
ートの活用、ミライシードの活用をした実践を、今まではほぼ見たことがないので、このよ
うな個別最適化の学習、あるいは主体的、協働的学習の実態を、ぜひ公開授業の中で教員の方
にお願いをしたいと思っております。

それから（13）で、校務支援システムが導入されたということで、大変嬉しく思っておりま
す。市としての負担もたくさんあると思いますので大変だと思っておりますが、導入した結果、ど
のように変わっていったのかというのが大切だと思っております。ということが従来の校務活
動と変わっていったのか、このシステムを入れたことによってどういうふうに変わっていった
のかということについて、具体的な事例等を次回の定例会のときにでもお教えいただきたい
と思っております。

最後に（15）です。コミュニティスクールのモデル校が指定されて、庄小学校と山中中学校
が今年度は担当にあたると。このことについては市としても大変力を入れて、今年度か来年度
中くらいにコミュニティスクールに市全体を変えていきたいという方向があるというふうにお
聞きしております。それに伴って、コミュニティスクールに指定された学校において、具体的
な実践研究発表会などを計画していらっしゃるのか、そういうことも併せて教えていただきた
いです。以上です。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 それでは順を追ってご説明させていただきます。1つ目、学校と地域の連携・協
働、社会に開かれた教育課程をどんなふうに創造していくのか、目標を達成していくのかとい
うところですが、一番最後にご指摘のあった（15）コミュニティスクールの実現、具現
化というのが一番の施策として考えております。コミュニティスクールを立ち上げていく時
には、地域と学校とが連携・協働していくことが欠かすことができない要因でありますので、
そのことによって学校と地域が一緒になり、社会に開かれた教育課程を創造していく、そう
いうふうに繋がっていくと考えております。それから先ほど教育庶務課の方で義務教育学校化とい
う話題もあり、橋立小中学校の義務教育学校化ということも進められているんですけれども、
義務教育学校化という部分での学校と地域の連携・協働というのは非常に重要なテーマであり、
義務教育学校化を進める上でも、この社会に開かれた教育課程の創造に向かって進んでいき
たいと考えているところです。

2点目の民間学習塾との連携ですが、昨年度初めてのことで、途中から取り組んだこ
とで不十分だったという課題もたくさん聞いております。なんとか民間の力も借りて加賀市
の子ども達の学力向上にいいものを作り上げるために、民間学習塾の先生方とも連携、協働
して成果をあげていきたいと考えております。また取り組み内容等具体が決まりましたら、ご
説明をしたいと考えておりますし、その効果についても検証をご報告したいと考えております。

3点目、きめ細非常勤講師ですが、今すぐ出てこないの、また後でご報告させていただ
きたいと思っております。

4点目、PC 端末を活用した授業公開ということで、ご指摘いただいたように、私どももなか

なか配備はされたけれども活用が進んでいないという現状を認識しております。そのことも含めて計画訪問の折には、原則としてですけれども、全教員が PC 端末を活用した、ICT 教育の充実に向けた授業を公開してもらうように働きかけていきたいと思っております。

5 点目、校務支援システムについてですが、昨年度から少しずつ研修を重ね、この 4 月 1 日より導入しているんですけれども、実際、新しいものが入ってくると、いくらデジタルといえどもこれまでのアナログの方が慣れているし、便利だったという声も聞こえております。今、石川県内の全市町で導入されたものですので、今後各市町の方から出された課題等含めて、県教育委員会とも連携しながら、より良いものとして校務支援システムを活用していけるように、また加賀市としても成果をあげられるように、現場との情報交換をしながら進めていきたいと思っておりますし、篠原委員からご指摘のようにどのように変わったのか、そしてどんな効果があったのかということもご報告させていただきたいと思っております。

最後ですけれども、コミュニティスクールのモデル校を指定してということですが、当面計画しているところは、夏休み中の 7 月 25 日に文部科学省のコミュニティスクールマイスターを招へいしての研修会の予定をしております。そのあと 2 学期に入りましたら、モデル校からの中間報告、そういったものを校長会、教頭会とも連携しながら各学校に還元し、そして 3 学期には来年度に向けた計画づくり、学校運営協議会の立ち上げに向けての準備等を進めていくスケジュールを考えております。以上です。

○篠原委員 ありがとうございます。大変具体的な説明でよくわかりました。最後にもうひとつ、(11) 中学校授業アドバイザーによる指導・支援が行われるというお話でした。例えば具体的には何名の授業アドバイザーの方がいらっしゃるのか、どういう学校に配置されているのかということがわかりましたらお教えいただきたいと思えます。

○平塚次長 先に、先ほどご質問いただいた、きめ細非常勤講師についてご報告させていただきます。片山津小学校と錦城東小学校と山代小学校に対象学級が 1 クラスずつあり、計 3 名配置されております。

それから今ほどいただいた中学校の授業アドバイザーについてですが、実績のある 4 名の先生方で 6 つの中学校を担当して週 3 日、年間 120 日中学校の方に入り、指導助言をするということになっております。

○篠原委員 特に中学校の学力授業改善は期待していますので、ぜひ先生方の強力なご指導のもと、子ども達の新しい学力に合った授業を構築していただけるようなご指導をお願いしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 まず 1 点目が、具体的な取り組み (3) にかかるのかもしれませんが、義務教育学校化を目標に掲げた全体的な教育庶務課のイメージもありますが、その中で学校指導に対して今、小学校の教科担任制が導入されていて、教科担任の不足が見えてくるんじゃないかと思えます。それにおいて学校間での小中学校の先生方の異動、もちろんこれは教員免許の関係もあるのかもしれませんが、可能なかどうか。そういったものが検討されるのかどうかということをお答えいただきたいと思えますし、そういった対象校が結構あるんじゃないかと思えますので、もし具体例があればお願いいたします。

2 点目は課題の一番最後、学校と地域の連携・協働ということで、コミュニティスクールの

ことかと思ったら、具体的な取り組みに出ておりましたので、そうだなという中で、山中中学校という言葉が出てきました。学校と地域の連携を進めるにあたって、やはり地域への照会、チャートというか、コミュニティスクールを作るにあたって、計画としてこういうかたちで進めていきますよというのを、地域の方々にまず照会する部分が必要ではないかと思えます。いつも申し上げますが、お役所的という、上からどんと下りると反発したい人が結構出てまいります。そうではなくて、このように進めていますという年間計画、チャート等があればそれをお示しいただきたいですし、おそらく山中を進めるとすれば、まちづくり協議会の中にそういった課を設けて、まち全体で考えることができるんじゃないかなという可能性があると思えますので、事前の周知というものを徹底いただきたいと思えます。その辺、もし今お考えのことがあればよろしく願いいたします。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 まず教科担任が不足している現状があるのではないかとのことですけれども、これは本当に規模が小さくなると教員の数も少なくなるし、全教科の教員を配置できないという現状が確かに出てきております。そういった場合に対応するために、学校を2つ兼務するというかたちでの事例がございます。これまでも山中中学校には美術の教員がいない、山代中学校の美術の教員が山代中学校と山中中学校を兼務して週に2回山中中学校に行く、あるいは片山津中学校と橋立中学校を兼務して、片山津中学校の美術教員や技術教員が橋立中学校に週に何回か行くという兼務の事例はありまして、その兼務をうまく使いながら各中学校の教科担任の不足を補っている現状です。

○山下委員 それはさらに小、中として可能なんですか。

○平塚次長 橋立小中学校では実際に小学校の音楽の免許を持った教員が中学校の音楽の授業に出たり、中学校の体育の免許のある教員が小学校の体育を教えたり、小中の相互乗り入れというのは以前から積極的に進められておりますし、義務教育学校のメリットのひとつの9年間の義務教育、連続した学びを実現できると。山下委員が指摘された教科の専門性をもった教員が発達段階に応じてそういった教育を実現できるというメリットもあると思えます。

○山下委員 小学校の教科担任が進んでくると思えます。その中で今、現状で足りていないところがないのか、そういった場合に中学校の先生がおりにすることができるのかなということをお尋ねしたいです。

○平塚次長 今、英語教育が始まっておりまして、英語については中学校籍の英語教員が小学校の英語を教えるという事例もございます。そういった教科担任制が今は加配というかたちで県から支援する制度もできているんですけども、また国、県の動向も注視しながら、教科の専門性を持った教員を適切に配置して、教育効果を上げていくということは、山下委員がご指摘されたような方向性で私たちも進めていきたいなというふうに考えております。

2点目のコミュニティスクールの年間計画等については、山中中学校の方では明日、PTAの総会が開かれる予定です。4月に山中中学校と庄小学校の校長と打ち合わせ会をしたんですが、そこで年間のスケジュールについては共有しております。4月はPTA総会やまちづくりの総会等に積極的に発信していくとか、今年度こういうかたちで進めますということで、山中中学校の方では、保護者向けのコミュニティスクールとはどんなものなのか、どんな目的とするのか、どういうことを狙っているのかということの説明資料を、文部科学省や教育委員会

の方からお出しした資料をもとに校長先生が作ってくださいました。昨日、そちらを拝見したんですが、明日はまずPTA総会で保護者向けにコミュニティスクールの導入についてというところで説明はなされると思います。それから学校指導課としては、生涯学習課とも連携しまして、夏休みの研修会にはぜひ公民館長さんとまちづくりに関わる方についても、一緒にお話を聞いていただけないかということで今調整を進めておりますし、積極的に様々なまちづくり等、あるいは区長会、公民館長会、そういったところに発信してコミュニティスクールを加賀市としては前進させていき、地域と連携した学校づくりを進めていきたいということを発信していきたいと思っております。

○山下委員 今ほどのコミュニティスクールのチャートの中で、学校と保護者というのはすでにつながっている関係で、コミュニティスクールにする場合は、その先に地域があるんですね。そちらへの発信や周知をお願いしたいと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○疎委員 コミュニティスクールのことなんですが、社会に開かれた学校ということで、なにか今年こんなふうな目的を掲げているとか、目的がわかれば少し教えていただきたいです。

○山田教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 これまでも学校評議委員制度というものがあまして、委員さんも学校評議委員として関わってこられた経験があるのかもしれませんが、それと関係者評価委員会というものも作られて、学校の教育活動については年に2回から3回の評価、検証をしていただいています。ですが、コミュニティスクールになると学校運営協議会という組織がさらに発展的になるというか、どちらかという学校からの説明を聞いて評価するという立場だった評議委員さんとは違って、学校と一緒に学校運営に関する意見や、あるいは学校が困っていること、山中地区なんかはかなり進んでいると思うんですが、例えば一緒にこいこい祭りを盛り上げるために学校と保護者、地域が一緒になって取り組もうというベースはあるのかなと思います。庄小学校も学校と保護者、地域が一緒になった活動があったと思うんですが、そういったものをもっと効果のあるものにしていこうと。それで学校も良くなるし、そして地域も良くなるという、そういうかたちのものをイメージしていて、そんな具体的な例を庄小学校、山中中学校で作っていただいて、じゃあそういうものを作るためにこういうことをしたらこんなふうになった、こういう人にこんなお願いをしたらこういうことができたということを、今年事例として上げていって、それを来年度は加賀市内の全小中学校に広げていきたいと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは続いて生涯学習課のところでは何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 具体的な取り組みの(5)に家庭教育推進計画見直しと書かれています。加賀市では具体的にどんなスケジュールでなされるのか、おわかりでしたら教えてください。

○山田教育長 上出課長、お願いします。

○上出課長 今、具体的な資料は持ち合わせていないんですが、まず計画を立てるとき、5年前に一度アンケートを行っております。今年もそのアンケートの内容を少し見直して行なって、その対象となる方々がどのようなことを市に求めているか、どういうことが困っているかということをおある程度アンケートで吸い上げたいと思っております。その内容をもとに今年度中、秋ごろに一度、家庭教育推進会議を開きまして、年度内には計画を見直したいと思っております。

す。具体的に何をやるということは計画ではうたっていないんですが、変わっているところは確かにあると思うので、そういうところを直していきたいと思っております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 課題と具体的な取り組みの両方に入っていますが、セミナーハウスあいらすのことについて、あの施設は素晴らしい施設だと思っているんですが、なかなか利用がないと。その中でももちろん年月が経っていて、修繕費がかさんでいく。具体的な取り組みの中に適正管理とあるんですが、具体的にどういったかたちで今後進めていくのか。それと利用低迷に対しては対応を市として考えているのか、それとも指定管理の方にお任せしているのかということもお聞きしたいと思います。

○山田教育長 上出課長、お願いします。

○上出課長 具体的にどのようなところですが、適正管理というのは施設のハード面と、あと行なっている内容とふたつ考えております。施設については老朽化も進んでおりまして、直さないといけないところが、計画をしてもぽつぽつと出てくる状況ですけれども、そうならないように前もって計画を立てて直せるようなものを定期点検、今年もう一度ありますので、前回のもつと見直しながら、今回計画にあげていたものと合っているか突合させて計画を作りたいというのがひとつです。内容をどんなものを行なっていくかというものにつきましては、自主事業が多いんですが、それを行なうためにもプロジェクターが古いもので現在のものに対応していないとか、そういうことも聞きますので、市としてできる器材を揃えとか、そういったところを少し手伝ってあげたいなと思っております。あと管理につきましては、ときどき施設に行きますと、掃除がされていないとか、草が生えているとか、そういうところも見受けられますので、そういうところはこまめに注意をしたいと思います。そういうことで満足度を上げるかたちで使っていただく頻度が上がらないかなと思っております。

○山下委員 あいらすは素晴らしい立派な施設なので大変もったいないというか、ここ数年はコロナもあってなかなか難しかったですが、例えば観光業者とかと連携をするなりのかたちで、利用促進をもう一度図ってみるという施策を、これは指定管理の方がすればいいんでしょうけど、市としても計画されたらどうかなというこれは意見でございますので、素晴らしい施設を持ち腐れにしないようにしていただければと思います。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは続いて図書館のところでもなにかご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 具体的な取り組みの（１）児童サービスの充実の中で、親子スマイリーネット事業と書かれています。どんなことをやっているかわからなかったんですが、具体的にお教えいただきたいです。

2点目、（7）郷土資料のデジタルアーカイブ化ということで、これは昨年度からずっと精力的に実施をなさっていると理解しておりますけれども、また今年度はどんな内容のものをなされるのかなと思っております。これは個人的なお願いですが、マイクロフィルムになっている大聖寺の昭和初期の新聞があるんですが、その新聞がマイクロフィルムがだいぶ劣化したり、マイクロフィルムを読み取るリーダーがないということがあって、その資料が散逸されてしまうのではないかといつも心配をしております。そのあたりをデジタル化していただけないかなと考えておりました。

最後に（８）デジタル図書館、これも昨年度からで今年度も予算化もされておりましたけれども、運用開始はいつから行なわれるのか。私も図書館を楽しみにしておりますので、ぜひ教えていただきたいです。

○山田教育長 出淵館長、お願いします。

○出淵館長 1点目の親子スマイリーネット事業ですが、子育て支援課が中心となって行なわれている事業でございまして、児童館に司書が出向いてお話会をしたりですとか、読み聞かせを行ったりしております。

2点目の郷土資料のデジタルアーカイブ化なんですけれども、今年度、国立文献研究所資料館から文献をデジタルアーカイブ化するためのスキャナーをお借りすることになっておりまして、まずは資料館からぜひこれは残してくださいという資料の指定がございまして。その資料もデジタル化を図りつつ、空いた時間は加賀市さんがアーカイブ化したいものがあつたら使っていただいても構いませんと言われてるので、今おっしゃった郷土資料などをなるべく無償で借り受けられている期間に、少しでもアーカイブ化を進めていけたらと考えております。

3点目のデジタル図書館なんですけど、今、準備をしております、できれば7月には開設したいと思ひ、作業を進めているところでございます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは続いてスポーツ推進課についてなにかご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは続いて文化振興課についてなにかご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

それでは続きまして、報告第18号、地域プロジェクトマネジャーの配置について小茂出課長お願いいたします。

● 報告第18号 地域プロジェクトマネジャーの配置について
小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 昨年度からお話に出ていた方だと理解しておりますけれども、会計年度任用職員として雇用されたということで、教育次長レベルだとお聞きしております。具体的な業務というところで、先ほどから出ている施策の中で、加賀市における目玉について中心的に担う方だと思っておりますけれども、例えばどういうふうなスタンスで、どんな行動をとられているのか、具体的に教えていただきたいと思ひます。

○山田教育長 小茂出課長、お願いします。

○小茂出課長 橋立小中学校の義務教育学校化に向けての取り組みや説明、地域との話し合い等に参加していく予定で進めていくこととなります。

○宮永次長 追加で、昨年度から募集をかける段階でこういった人材をとということで求めていましたので、教育長を補佐する立場として動いていただいております。当初私もこんな若いのにとも思っていたんですが、やはり経験も若いなりにすごくありまして、さらにはいろんな事例も知っておりまして、先進的な義務教育学校に向けてであったり、新しいカリキュラムを作るにあたって、どういった学校が日本の中で先に進んでやっているかということも非常

に知っています。そういった見識のもと、いろんな企画をしていただいて、それを教育委員会事務局に提案する中で取り組みを進めていくと。今、課長が説明した義務教育学校化に向けてもいろいろな課題があります。その課題をどう解決していくかということ、さらには日本でも評価されるような学校づくりということで、こういったものがないかということも、非常にこの方を見識と経験と人脈も含めて活用しながら、その役割を担っていただけるかなと考えております。

○山田教育長 赴任して4週間余りなんですが、彼が計画立案して、本当にこのわずか1ヵ月弱で、物事がぐっと進みました。というのは私たちが持っている常識みたいなものと、今先進的にやっているもの、やはり実践化というのと本を読んで覚えたというのと違うようなところで、すごく説得力もあるし、企画力もあるし、文部科学省や中央官庁の方に非常に知り合いが多い、大学の先生にも知り合いが多いということで、その人脈も生かしながら、偏った資料ではなくて、本当に今、国が目指している適切な学校をつくる方向性を示してくださっているということで、本当に力強い存在だと私は思っております。

○篠原委員 大変安心をいたしました。教育長さんの要するにブレインというかたちになるんだろうと考えますけれども、加賀市が新たな教育活動ができるための大きな戦力になる方だと理解しておりますし、我々もわからないこともいっぱいありますので、またぜひこの定例会に来ていろんなことを啓発していただきたいと思っています。よろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第19号、「旧黒崎小学校」使用貸借契約の締結について小茂出課長お願いいたします。

- 報告第19号 「旧黒崎小学校」使用貸借契約の締結について
小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 てくてくの杜さんのフリースクールの件ですが、よく実態がわからないというのが私の正直な感想です。例えば、何名の方が通学しているのかということとか、あるいはそのお子さんは本来は不登校ということらしいですが、所属している小中学校があるんだろうと考えますよね。その学校はどうかたちでその方の対応をしていらっしゃるのか。加賀市においても不登校のセンターがありますよね。そちらともどんなかたちで連携を進めていらっしゃるのかということについても、加賀市の組織との連携ということも踏まえて、実態を次回でも結構ですので教えていただければと思います。

○山田教育長 宮永次長、お願いします。

○宮永次長 昨年度中にいろいろと今年度の状況についての協議等をしてまいりました。今現在、22名の小学生、5名の中学生が通っております。先生というか、指導者の方は最大5名を予定しておりますけれども、今3名から4名くらいで、無認可の保育の方と併せてということで、5人体制だと聞いているんですが、先だって確認しに行きますとやはり3人の先生で見られていました。不登校のお子さんかどうかということですが、子どももそこを居場所として求めておいで、親御さんもそこでお子さんを育てたいという思いの中で、通常の公教育

の加賀市立の学校に行っていたきたいというところはあるんですが、自然の中でのびのびとという方向性がどうしても子ども、親御さんともにあるという中で通っておいでするという認識です。学校の対応については学校に在籍ということで、錦城小学校、錦城東小学校、作見小学校が多い段階で、今お子さんが増えてきたのでどうなっているかというところですが、市内のいろんなところにお住まいです。あと中学生3名は山中の方で、親御さんと離れて住んでいるという情報はお聞きしています。もう少しお子さんの細かい情報はまた確認したいと思います。

○山田教育長 在籍学校は把握していますか。

○平塚次長 在籍学校については把握しております。在籍している各学校の校長と学校の対応等についても、また次回にご報告させていただきます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第20号、令和4年度学校訪問の実施について平塚次長お願いいたします。

- 報告第20号 令和4年度学校訪問の実施について
平塚次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第21号、加賀市成人式の開催結果について上出課長お願いいたします。

- 報告第21号 加賀市成人式の開催結果について
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 私は成人式に30年余り立ち会ってまいりましたが、今までで一番よかったです。素晴らしい成人式でした。昨今のいわゆる成人の方のハメをはずした行動が憂慮されておりましたけれども、今年ほど素晴らしい成人式はなかったなど感じております。特に準備をされた事務方の皆様方のご尽力には本当に頭の下がる思いがしております。昨年度からも言っております、参加できなかった保護者の方々にYouTube等で配信をお願いしますということで、今年は加賀市の素晴らしい先端技術を使っただきながら配信をしていただきました。それも大勢の方に見ていただいたということで、今後、保護者の方は残念ながらまだなかなか入れないということが続くと思いますけれども、ぜひ今年度のような形式をもって、短時間にそして整然とした秩序正しい成人式が今後も行なわれることを希望したいと思います。本当にどうもありがとうございました。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第22号、加賀市社会教育委員の委嘱について上出課長お願いいたします。

- 報告第22号 加賀市社会教育委員の委嘱について
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 23 号、加賀市公民館連合会役員について上出課長お願いいたします。

- 報告第 23 号 加賀市公民館連合会役員について
上出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 24 号、「加賀温泉郷マラソン大会 2022」の開催結果について田中課長お願いいたします。

- 報告第 24 号 「加賀温泉郷マラソン大会 2022」の開催結果について
田中課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 約半数の方が辞退をされたという現実ですね。これはやはり大きく受け止めないといけないんじゃないかと考えております。その原因は先ほど課長さんがおっしゃったように、PCR 検査の事前検査が義務付けられたということだと思うんです。後でご配慮をいただいて、金沢地区と加賀市で PCR 検査をする場所を作っていただいたと伺っておりますけれども、今回の PCR 検査を必ず受けなさいというのは、それで結構だと思うんです。けどもやはりその準備がもう少し事前からランナーの方に伝わっていないと、それでいきなり何日か前に PCR 検査をしなさいということで、このような結果になったんじゃないかなと推察されます。次年度以降もこの大会を続けられると思いますし、盛大な大会にしていきたいということを観光振興の面からも思っておりますが、やはり配慮というか、もう一度運用の工夫を考えていくというお話でしたので、それで安心をしておりますけれども、また福井マラソンが同じような時期にできるということもお聞きしています。ということで、ますます加賀温泉郷マラソンがよくないという評判が立ってしまうと、これは観光関係の皆さん方にも大きな打撃を与えることとなりますので、今回のことを大きな教訓としていただいて、今後の運営を十分配慮して行なっていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 まず事後の評価の中では、全員が PCR 検査をされているので安心して走れたというご意見もあったようですが、私はフェイスブックしか拝見していませんが、たぶんランネット等で相当な荒れ模様だったんじゃないかと思えます。そのフェイスブックの中でひとつ気になったのは、我々に PCR 検査を課すんだから、スタッフ全員 PCR 検査をしているんだろうというのがあったんです。果たしてそれがあったのかどうかをお答えいただきたいというのが 1 点。2 点目は、不本意に不参加だった方々への参加費については、どういうふうに対応をされたのか、その 2 点をお願いいたします。

○山田教育長 田中課長、お願いします。

○田中課長 まずは運営側のボランティアや関係者の方々、私どもも含めてですが、そちらの方に関して PCR 検査を行なったかどうかということについてなんですけど、そちらの方に関しては PCR 検査はやっていないというのが実際のところになります。その理由としましては、ラン

ナーの方については、走る時にどうしてもマスクをはずして走るようになってしまいうんですが、係員等に関しましては、常時マスクを着用することが可能であるということ。これまででしたらお弁当を配布したりすることがありまして、昼食の時間をもうけていただいて、その時にはマスクをはずすことが想定されたんですが、今回はそういったことも考慮した上で、お弁当は配付せずに、お弁当の代わりに係員の方には500円分のクオカードをお配りさせていただくということで、大会の当日に関しては、常時マスクを着用していただくことをお願いさせていただきました。ということで、ランナーとの違いということでマスクを着用している部分、そして感染防止対策を徹底させていただくということで、PCR検査は求めないということできさせていただいております。ランナーの方からもそういった問い合わせを複数いただいていたんですが、同様の回答をさせていただきまして、ご納得いただいたというところであります。

もう1点、キャンセルをされた方、やむなくキャンセルをされたということで、もともとの加賀温泉郷マラソンの募集要項の中では、自己都合でのキャンセルに関しては返金はしませんということを明記していたんですが、募集を締め切った後の急遽の参加要件の変更ということもありますし、出たくても出られないという状況を作ってしまったところでありましたので、キャンセルされました方につきましては、当日までキャンセルの受付をするかたちにいたしました。フルマラソンにつきましては、もともと9,500円の参加料をいただいているんですが、どうしても大会を開催してしまうと、いただいております参加料についてはほぼ全額使用してしまうことになるんですが、特別な対応としまして、フルマラソンについては9,500円のうちの3,000円を返金させていただいた上で、参加賞の方を郵送させていただくことにしました。10キロに関しては、5,000円の参加料をいただいているところ、そのうち1,500円を返金させていただいて、こちらの方も参加賞を送らせていただくことにしております。また2キロのファンランにつきましては、500円の参加料をいただいてエントリーの受付をしていたんですが、こちらについては中止というかたちにしておりますが、500円の参加料をお返しするとなると振込手数料等も発生してくる関係で、非常に厳しい状況になるということもありまして、返金の方はなしというかたちにさせていただきましたが、参加賞を送らせていただくということでご案内をさせていただいたところでありました。また参加賞の郵送等については、今後、なるべく早急に対応してまいりたいと考えております。

○山下委員 大変汚点を残した結果なんですね。参加料のお返しはしない、返すと負債が発生する。これは市として後出しじゃんけんに勝っているんですよ。後出しじゃんけんに勝ってはいけないんですよ。なので全額市が負担しないといけないものだとは私は思います。それから以前、加賀温泉郷マラソンのスタートのときはマラソン対策室であったものが、室ではなくなっただんですが、室のようなかたちで特別に設けて、こういう状況に応じて半年くらい前から想定問答を繰り返してください。半年くらい前からいろいろな想定をして、その想定に対応できるようなことをしないと、これだけ大きいことをして、加賀市を背負っている部分に対してこういう汚点は、大変全国的にも大きな汚点を残したと思いますので、マラソンの対策室とするかはまた別ですが、それくらいの気概を持って次の大会に臨んでいただければという意見でございます。

○山田教育長 他、ございませんか。

○棟委員 家の前でお菓子のエイドをやっていたので、見ていたんですが、このマラソン大会

をするのはすごく大変なんですね。人手が相当不足しているんだろうなど。加賀市の規模でこういうマラソン大会をやること自体相当大変なことなんだろうと思ったりしていたんですが、選手の方がトイレに入った後に、消毒の液をかけて、手を拭いてから出発してもらうことの指示もうまくいっていない感じで。本当はああいうときはペーパータオルとかを使うんですね。普通のタオルを使っていらっしやっしたし、大変だと思いました。でもできれば良い評判で続けていってほしいと思っていますので、よろしく願いいたします。

○山田教育長 実は昨日の夜、大会に参加された協力団体の3分の2くらいの団体の方に集まっていたいて、それぞれの反省事項を、今みたいなトイレのこととかもいっぱい出てきましたし、それをまた来年、もしコロナ禍であれば参考にしながら計画をするということで、いろんなご意見をいただいたということでございます。

他、ございませんか。よろしいですか。

それでは続きまして報告第25号、企画展「情熱の陶芸家 二代滝口加全」の開催について畷崎課長お願いいたします。

- 報告第25号 企画展「情熱の陶芸家 二代滝口加全」の開催について
畷崎課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第26号、加賀市・台南市友好都市交流記念、第19回九谷焼絵皿イラストコンクール作品募集について畷崎課長お願いいたします。

- 報告第26号 加賀市・台南市友好都市交流記念、第19回九谷焼絵皿イラストコンクール作品募集について
畷崎課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第27号、令和3年度加賀市小中学校教職員の勤務時間について平塚次長お願いいたします。

- 報告第27号 令和3年度 加賀市小中学校教職員の勤務時間について
平塚次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

以上で報告事項は終わります。続いてその他ということで教育 IT ソリューション EXPO・STEAM 教育 EXPO への参加について小茂出課長お願いいたします。

- 教育 IT ソリューション EXPO・STEAM 教育 EXPO への参加について
小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何かご意見、ご質問ございませんか。それでは参加するという
ことをお願いいたします。

続いて加南地区教育委員連合会研究大会の発表について小茂出課長お願いいたします。

- 加南地区教育委員連合会研究大会の発表について

小茂出課長 説明

○山田教育長 どんな題材の発表をするかということもありますが、またご検討をお願いした
いと思います。他、ございませんか。よろしいですか。

それでは次回教育委員会定例会日程について小茂出課長お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会日程について

小茂出課長 説明

○山田教育長 それでは5月27日金曜日、午前10時30分からということで予定に入れてお
いてください。

それでは以上で第4回教育委員会定例会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。